

もしもの時のために、 「事前指示書」を作りませんか？



人生の最期がどのタイミングで訪れるのかは、誰にもわかりません。

もしあなたが突然事故などに遭い、人工呼吸器の助けを借りなければ呼吸が出来ない状態になったとしたら。また、認知症などの病気によって自立した意思決定が出来なくなつたとしたら。

できる限りの治療を受けても病状が回復する見込みが殆どなく、旅立ちの時が近づいてきている場合のことを考えてみてください。

あなた自身が延命治療を望んでいなかったとしても、医療側から栄養補給を含む延命治療の選択肢を提示された家族や大切な人は、判断にとても迷うでしょう。あなたがどのような医療やケアを受けたいのか、その時になってからでは、周囲の人たちに伝えることができない場合もあります。

あなたの思いを伝える方法として、「人生会議」（アドバンス・ケア・プランニング）があります。自分自身がどんな最期を望んでいるかを家族や大切な人に伝え、話し合い、それを「事前指示書（リビング・ウィル）」として書き残しておくことです。

リビング・ウィルは現在の意思表示であり、その内容はいつでも変更することができます。希望が変わった場合は新たに内容を変更し、日付も記入しておきましょう。

自分の意思表示がはっきりとできるうちに、「旅立ちの時」について考えてみてはいかがでしょうか。



延命治療とは？

「延命治療」とは、心肺蘇生や人工呼吸器、人工的水分栄養補給（点滴、経管栄養、胃ろうなど）その他、延命に関係するもののことです。助かる見込みがある救命治療は含まれません。

※「延命治療をしない」ということは、すべての医療処置やケアを止めてしまうということではありません。

作成：串本町地域包括支援センター



医療・ケアについての私の「事前指示書」

【人生の最期に望む医療・ケア、望まない医療・ケア】

・心臓マッサージなどの心肺蘇生

希望する 希望しない 今はわからない

・延命のための人工呼吸器の使用

希望する 希望しない 今はわからない

・胃ろうや鼻チューブによる栄養補給

希望する 希望しない 今はわからない

・点滴による水分補給

希望する 希望しない 今はわからない

・その他の希望や家族に伝えておきたいこと

※「痛みだけはとって欲しい」など、何でもご自由に記入してください。



【人生の最期を過ごす場所について】

可能であれば、自宅で療養したい

可能であれば、病院や施設で療養したい

その他

希望する場所 _____

記入日： 年 月 日

本人署名

住所 氏名

家族等署名（本人との続柄： ）

住所 氏名

*事前指示書は、記載することが目的ではなく、ご家族や大切な人と自分の最期について十分に話し合うことが重要です。

*現在、日本において、医療に関する事前指示書に法的な拘束力はありませんが、厚生労働省からもガイドラインが出ており、近年は医療機関などでもリビング・ウィルを尊重する動きが見られています。

